

こんなときは兵庫県弁護士会へ

兵庫県弁護士会では、様々な窓口を設け、市民の皆様のご要望にお応えしています。

犯罪被害にあったとき



犯罪被害者やその遺族の方への
無料相談

犯罪被害者支援センター
078-341-8227

訴えられたとき



裁判等の当事者対象の無料相談

民事・家事事件当番弁護士
078-341-5000

借金・生活



借金による多重債務に
ついての相談

神戸 078-341-1717
西播磨 079-286-8222
阪神・伊丹・川西・宝塚
06-4869-7613

高齢者・障がい者相談



高齢者・障がい者についての専門
法律相談。来所・出張・電話相談可

高齢者・障害者総合支援センター
078-341-0550

逮捕されたとき (当番弁護士制度のご案内)



逮捕された方への
当番弁護士派遣のお申込み

神戸 078-341-2940
阪神 06-6412-8030
明石 078-360-6056
播磨 079-224-7115
但馬 078-360-8301

法律相談したい



県下13箇所の相談所での弁護士
による一般相談窓口。どこへ相
談して良いかわからないという
方はまずはこちらへ

総合法律センター

神戸 078-341-1717
西播磨 079-286-8222
阪神・伊丹・川西・宝塚
06-4869-7613
北播磨・山崎・南たじま・明石・淡路・丹波
078-351-1233

住宅でもめているとき



住宅紛争審査会での
住宅紛争処理手続きについて

問合せ 078-367-3616
申込み 0570-016-100

仲裁・裁判外の解決 (ADR)



紛争解決センターによる
和解あっせん制度のご紹介

問合せ
078-341-8227

遺言・相続



遺言や相続に関する
無料電話相談窓口

遺言・相続センター
078-382-4115

中小企業相談



売掛金の回収や事業承継など
中小企業にまつわる無料相談窓口

ひまわり中小企業センター
0570-001-240

消費者被害にあったとき



商品先物、証券取引、マルチ商法、
インターネット取引、欠陥商品、
欠陥住宅など、消費者被害に
関する専門相談窓口

消費者被害救済センター
078-341-1810

労働相談



解雇や雇止め、賃金等の
未払いなどでお困りの方の
ための労働相談窓口

総合法律センター又は法テラス兵庫
050-3383-5440

子どもに関する相談



いじめ、体罰、虐待、
不登校、校則、少年事件など
についての相談(無料)

子どもの悩みごと相談
078-341-8227

DV相談



DVとは何かのご説明や、支援の
法制度、相談窓口などのご案内

総合法律センター又は法テラス
DV等被害者法律相談援助制度の申込
0570-079-714

空き家対策支援センター



空き家に関する法律問題に対応
できる弁護士の紹介、自治体等
での空き家問題セミナーへの
弁護士派遣などを行います

空き家対策支援センター
078-341-5110

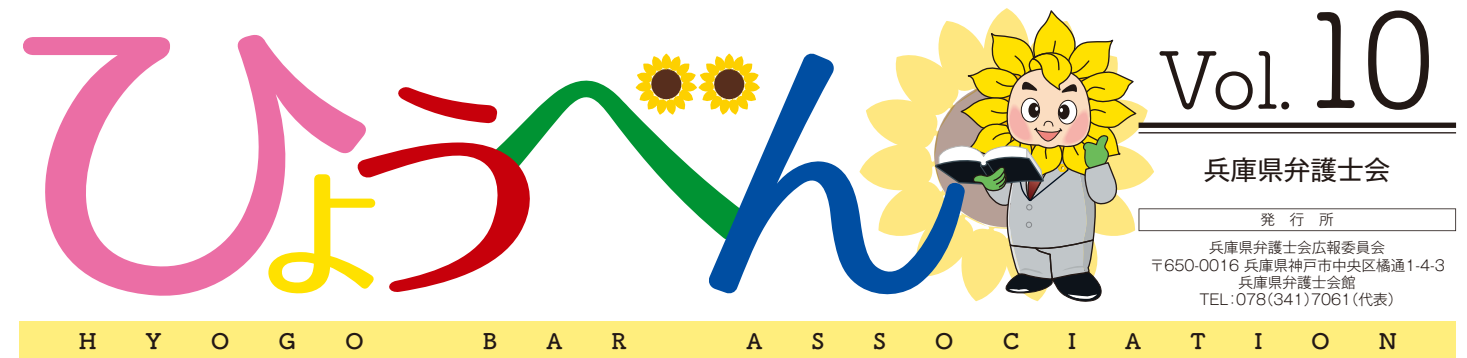
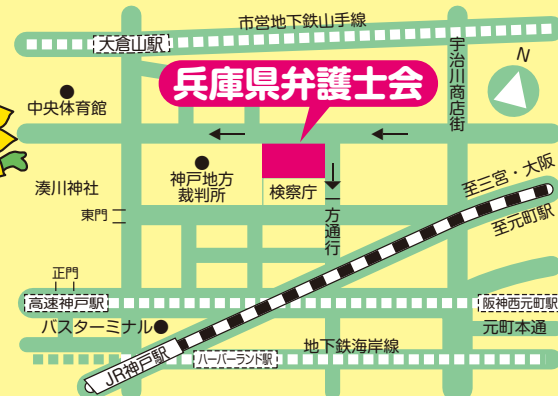
どの窓口かわからない場合でも、
まずは、兵庫県弁護士会まで
お電話ください。

兵庫県弁護士会館

〒650-0016 神戸市中央区橋通1-4-3

TEL:078-341-7061

兵庫県弁護士会
イメージキャラクター
ヒマリオン
Since2001



本当のプロは難しいことを簡単に説明できる
あらゆる分野で法的知識を補ってくれたら
非常に大きな力になる

姫路市長 清元秀泰さんと会長の対談



えられることもあるので、守ってもらう役目もあります。行政に警告を出してくれることもあり、セーフティーのバルブにもなっています。姫路市では、3人ぐらい弁護士職員が欲しいと思い、さらなる弁護士職員の募集をしているところです。

津久井 姫路支部には約140名の弁護士が所属しています。何か期待することはありますか。

清元 本当のプロは、難しい事柄を簡単に分かりやすく説明できるものです。あらゆる分野で法的知識を補ってくれる存在になってくれると嬉しいです。行政の説明にはどうしても納得してもらえないこともあるので、公と民の間の接着剤になっていただけると大きな力になります。その際、ステレオタイプで「法律ってこんなもんや」と切り捨てるのではなく、状況に適合した明快な解を出してくれる弁護士さんを頼もしく感じます。災害時の協定にも前向きに取り組みたいと思っています。お互い力を合わせて頑張っ

て参りましょう。

津久井 私も医療の現場、行政の現場から学びを得たいと願っていたのですが、今日のお話から実に多くのことを学びました。本当にありがとうございました。

(対談日 2021/11/24)



兵庫県弁護士会
イメージキャラクター
ヒマリオン
Since2001

ご挨拶

兵庫県弁護士会 副会長 立花 隆介

コロナ禍、豪雨、地震、噴火と、近時、多くの災害が発生しており、いつ、どこで災害が起こるのか本当に分かりません。弁護士・弁護士会としても、そのような状況に常に対応できるようにしておかなければならないと感じます。

とは言いつつ、令和4年は、コロナも収まって災害のない穏やかな一年になってもらいたいと願います。私もあと3カ月の副会長職を全うして激動(激忙!)な1年を終え、穏やかな令和4年にしたいです。



津久井 市役所の体制にもメスを入れているんですね。

清元 同じシステムであれば、また同じ過ちが起きます。英語の「LIFE」には3つの意味があります。それは「命」、「一生」、「くらし」ですが、市政はその全てに深く関わります。システムは市民のLIFEのためにあるべきです。

■姫路市政における弁護士の役割

津久井 東日本大震災の被災地で、弁護士の役割を実感されたことはありますか。

清元 被災地で医療支援施設を設けるため土地取得に奔走していたとき、角地を押さえようとする地上げ屋のような動きがありました。権利関係を調べて何とか対応しましたが、リーガルな専門家が必要だと考えました。被災行政への助言も法的な情報が必要で、法律のプロが欠かせません。

津久井 姫路市には、法曹資格を持つ任期付き職員も勤務しています。

清元 我々は法に基づいて行政を行っていますから、身近に相談できる弁護士が常駐していることは本当に心強く、ありがたいです。行政に対して不当要求をされたり、訴



清元秀泰さんは経験豊かな内科医である。2010年10月に東北大学医学部に異動して数か月後、2011年3月11日の東日本大震災に遭遇した。直後から被災した現場を走り回り、危機管理の大切さが骨身に染みたという。翌年、東北大学の東北メディカルメガバンク機構地域医療支援部門の部門長・教授となり、被災地の医療体制の構築に精力を注いだ。2019年4月に姫路市長に就任し、コロナ禍においては行政対応のリーダーシップの重要性を誰よりも強く感じている。その立場から、弁護士に対する期待するところをお聞きた。



■東日本大震災における医療の現場

津久井 今日、清元市長にズバリ東日本大震災のご経験をうかがいたくて参りました。まさに被災時に東北大学にいらっしやったのですよね。

清元 私は腎臓内科医として、これまで総合病院や離島の診療所等に勤務してきましたが、臨床経験を積み重ねる中で、一人ひとりの医師が頑張ることも大事だけれど、100人の優秀な医師を育てることができれば、より多くの患者を救うことができることに気付きました。それで、40歳頃から後進の人材教育に注力するようになりました。東北大学に招かれたのも、その延長線上のことでした。

津久井 震災直後はどんな展開だったのですか。

清元 発災後72時間で被災者の生存率曲線は大きく下がります。時間との闘いです。東日本大震災では水死と凍死が多かった。避難できた人でも持病をお持ちの方々は、3日も経つと薬が無くなり、物流の途絶や停電等による通信不能の影響も甚大で、たちまち命の危険にさらされました。例えば、透析には1回に120リットルの水が要りますが、その水がないため透析患者の緊急移送が必要です。一方、トリアージタグの付け方も分からない未経験の医師も多く、現場は実に過酷な状況でした。

津久井 当時の危機管理体制はいかがだったのでしょうか。

清元 誰が現場のリーダーなのか明確にする必要があります。トリアージは救える命かどうか選択する行為ですから責任あるリーダーがやるべきで、現場で患者の治療に当たる医師は悩まずに集中できるよう、上の者が命令を出すことが大事です。医療界の階層(ヒエラルキー)が、こういうときのためにあるのだと痛感しました。私はちょうどその要の位置にいました。

経験を備えた人材も現場には欠かせません。痙攣が生じてあごが動かない30代の患者がいて、私は髄膜炎を疑っ

たのですが、検査しても原因が分からず悩んでいたところ、避難所にいた高齢の開業医の方が破傷風だと見抜きました。津波による泥と外傷が原因だったのです。

津久井 市長ご自身は大丈夫だったのですか。

清元 私自身は無事でした。ただし、3週間ぶりに単身赴任先の官舎に帰ると、冷蔵庫の上に洗濯機が乗っていてびっくりしましたが(笑)。むしろ、私の人生への影響が甚大で、大学では機動力をもった医療人・人材育成ができる人間が必要だということで、東北メディカルメガバンク機構に地域医療支援部門が創設され、その部門長を任じられ、医療体制の整備のため、中央と被災地を往来する日々を送ることとなりました。テレビドラマの「チーム・バチスタ」に出てくる白鳥さんのような役割も担っていました(笑)。

そういえば、NHKの朝ドラ「おかえりモネ」では、ヒロインの恋人役の菅波医師は、現地で感化され、地域医療に注力する医師として描かれていますが、そのモデル事業を立ち上げたのが私達でした。

■市政に活かされるプロ・専門家の経験

津久井 そうした貴重なご経験が、現在の市政にも活かされているのでしょうか。

清元 もちろんです。コロナ禍で、大阪府はハコモノとしての重症病床を作ったと発信していましたが、人不足で期待通り稼働しませんでした。医療は設備も大切ですが、人材を集めることの方がずっと大事です。人を救えるのは、人なのですから。まず、姫路市では十分な人数の医師・看護師の確保から始め、病床整備していきました。

先日、突然に発生した鳥インフルエンザでも、用件中の東京から深夜にトンボ帰りし、現場に入ってその場で方針を決めて、翌朝、東京に戻るということもありました。組織の体制づくりも含め、危機管理には特に力を入れています。